

令和7年12月25日

勝英農業普及指導センター

大雪に伴う農作物等の被害防止について

岡山地方気象台の発表（12月25日05時35分）によると、26日は中国地方の上空約1500メートルに氷点下9度以下の寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まるため、北部では大雪となる見込みです。雪雲が現在の予想以上に発達し、同じ所で降り続いた場合には、警報級の大雪となる可能性があり、南部でも積雪となる所があると予想されており、ビニールハウス等の施設や農作物等への影響が懸念されます。

このため、今後、最新の気象情報に御留意いただき、令和7年12月2日付け、季節情報No.3を参考に各地域で適切な技術指導をお願いします。

なお、作業者の安全確保を最優先に二次災害の防止を徹底するよう、併せて注意喚起をお願いいたします。

大雪に関する岡山県気象情報 第2号（令和7年12月25日05時35分 岡山地方気象台発表）

〔気象概況〕

26日は、中国地方の上空約1500メートルに氷点下9度以下の寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。

〔雪の予想〕

北部では、26日明け方から夜のはじめ頃にかけて大雪となる見込みです。雪雲が現在の予想以上に発達し、同じ所で降り続いた場合には、警報級の大雪となる可能性があります。また、南部でも積雪となる所があるでしょう。

25日6時から26日6時までに予想される24時間降雪量は多い所で、

北部 山地 20センチ

平地 3センチ

南部 1センチ

その後、26日6時から27日6時までに予想される24時間降雪量は多い所で、

北部 山地 40センチ

平地 5センチ

南部 3センチ

〔参考〕

農作物の冬季管理と低温・降雪対策について（季節情報No.3）

<https://www.pref.okayama.jp/site/22/1009872.html>